

韓国語寸劇全国3位

鹿児島市の鹿児島東高校2年池田梓さん(17)、大迫真帆さん(17)ペアが、韓国語の全国大会スキット(寸劇)部門で、3位にあたる審査委員特別賞に輝いた。2人は「入賞するとは思わなかった」と喜んでいる。

鹿児島東高大迫さん・池田さん



「話してみよう韓国語」高校生大会で審査委員特別賞を受賞した鹿児島東高校2年の池田梓さん(右)と大迫真帆さん 一同校

「もっとと言葉学びたい」

2人は昨年12月にあった鹿児島大会で優勝し、第8回「話してみよう韓国語」高校生大会(クムホ・アジアナ文化財団など主催)に

出場。東京都で3月7日にあり、同部門は全国で予選を勝ち抜いた10組で競った。スキットの台本は、韓国留学中の日本人が

風邪をひき、韓国の高校生に相談したという設定で、主催者が前半を作り、後半はオリジナルで作成。2人は好きなK-POPスター

の写真や、風邪をひいたときの韓国文化を織り交ぜた演技で、会場を盛り上げた。

2人は週2回、同校の選択の授業で韓国語を学ぶ。韓国人の講師の発音を何度も聴いて練習に励んだ。

副賞として、夏休みに4泊5日で韓国で研修する。大迫さんは「賞状をもらって実感がわいた。韓国に行けてうれしい」。池田さんは「韓国に行って友達をつくって、もっと言葉を学んできたい」と話した。(上山智子)